
2005年度中間決算 説明会

2005年11月16日



三菱ガス化学株式会社

本日の出席者

取締役社長

小高 英紀

取締役

専務執行役員

中村 博海

取締役

専務執行役員

喜嶋 安彦

執行役員

畑 仁

本日の進行次第・配付資料

進行次第

1. 2005 年度 中間決算
および業績予想
2. 次期中期経営計画
3. 質疑応答

配付資料

- ・説明スライド コピー
- ・決算説明会参考資料
- ・ MGC CORPORATE
DATA BOOK 2005
- ・ 2005年度 中間決算短信
- ・ ニュース・クリッピング集
- ・ アンケート用紙
- ・ 封筒

連結 2005 年度中間実績

【億円】

	05年度 中間実績	04年度 中間実績	増減	増減率
売上高	2,070	1,901	169	8.9%
営業利益	157	139	18	13.1%
持分法利益	64	54	10	17.8%
経常利益	206	173	34	19.5%
税前利益	204	149	54	36.5%
中間純利益	148	118	31	26.3%

- 原燃料価格は引続き高騰。
- 需要は、一部製品で軟化したものの、全般に堅調。
- 原燃料・仕入れ価格上昇によるコスト増は、販売価格の上昇でほぼカバー。特にポリカーボネート、電材関連が好調で予想を上回る。
- 売上高は前年同期比 +169 億円。単体は同 +151 億円で、8割強が単価要因。
- 持分法利益は、メノール系・インプラ系が前年同期比増益。

有利子負債	1,665	1,784	119	6.7%
総資産	5,185	4,854	331	6.8%

連結 2005 年度中間実績(セグメント別)

	05年度 中間実績	04年度 中間実績	増減
売上高	2,070	1,901	169
天然ガス系化学品	589	564	25
芳香族化学品	614	540	74
機能化学品	597	520	77
特殊機能材	308	305	3
その他	8	12	4
消去または全社	47	40	6
営業利益	157	139	18
天然ガス系化学品	24	24	0
芳香族化学品	26	31	5
機能化学品	53	36	18
特殊機能材	49	46	3
その他	2	2	0
消去または全社	2	0	3

【億円】

天然ガス系化学品実績と予想

	05年度 実績・予想			04年度 実績			増減
	上期	下期	計 a	上期	下期	計 b	a - b
売上高	589	613	1,202	564	608	1,172	30
営業利益	24	35	59	24	41	66	7

【億円】

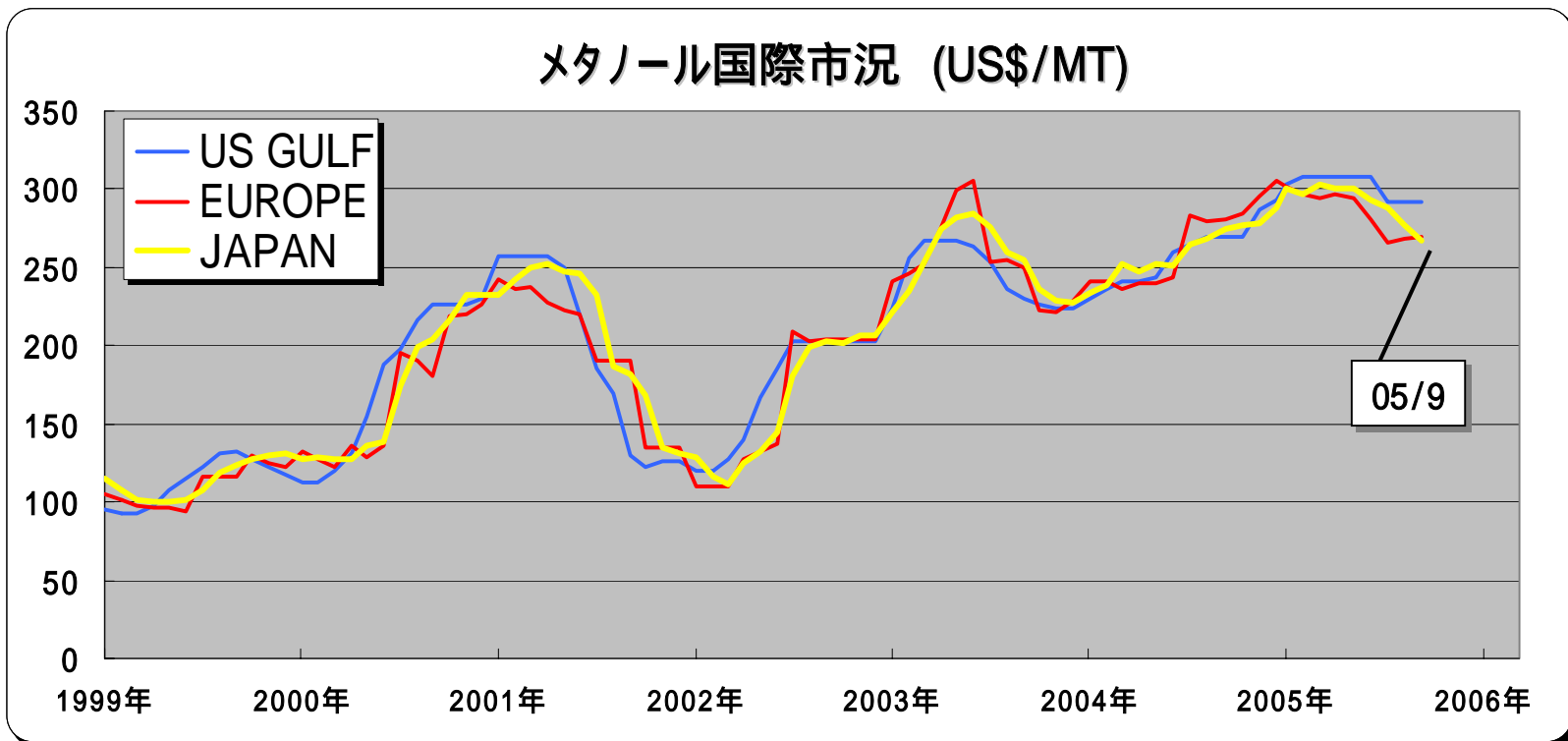
上期実績

- メタノールは、期初は引続き高値で推移。6月ごろより中国の輸入意欲減退で市況軟化も、依然として高値推移。海外メタノール会社の持分法利益は、前年上期を上回る。
- メタノール・アンモニア系化学品は、一部製品が在庫調整・市況軟化の影響で数量減も、全般に数量・価格とも堅調に推移。
- 酵素・補酵素類は、コエンザイムQ10が引続き需要好調で増収。
- 天然ガス・エネルギー販売は、原油高騰の影響で好調。

通期予想

- メタノール市況は10月より再び上昇。08年までの需給タイト基調は変わらず。持分法利益は期初想定通り。
- メタノール・アンモニア系化学品は上期の基調を継続の見込み。原料高騰によるコストアップに対応し価格是正、採算改善を図る。
- 酵素・補酵素類は、コエンザイムQ10の好調な需要が続くと想定。
- 天然ガス・エネルギー販売は、原油高が継続で好調の見込み。

(参考)メタノール価格の推移



- 国際価格の高騰を受け、中国国内の生産が増加。これに伴い6月ごろより市況が軟化。
- 市況の軟化の影響で、中国国内生産は再び減少。
- 欧米の天然ガス価格の高騰に伴い、採算の悪いプラントが前倒しで停止・減産。
- 新設プラント稼動に遅れ、他社プラントの装置トラブルも。
- 一方、需要はアジアを中心に好調。
- 市況は下げ止まり、反転基調。

天然ガス系化学品 トピックス

<p>メタノール事業の強化</p>	<p>サウジアラビア(第5期):着工、2008年1月完工予定 ベネズエラ(第2期):ベーシックエンジニアリング開始 ブルネイ(新規):年内にJ/Vの設立を目指す 重慶(新規):詳細FS継続中</p>
<p>コエンザイムQ₁₀の 増産</p>	<p>健康食品向けの需要が世界的に拡大。 製造拠点:新潟工場 生産能力:30t/y(現在) 70t/y(2006年~) * 市場動向を見ながら、次期増強も検討。</p>
<p>メタノール誘導体事業の 中国展開</p>	<p>南京にメタノール誘導体製造拠点の建設。 製造拠点:南京化学工業園区内 予定:第1期(2007年末~)メチルアミン、DMF、DMAC 第2期 TMP</p>
<p>ポリオール事業の強化</p>	<p>三菱化学(株)と合弁会社を発足。(2005年11月営業開始) 原料調達から製品販売まで、一貫体制を確立。 社名:ポリオールアジア(株) 出資比率:MGC 66%、三菱化学 34%</p>

芳香族化学品 実績と予想

	05年度 実績・予想			04年度 実績			増減
	上期	下期	計 a	上期	下期	計 b	a - b
売上高	614	653	1,267	540	573	1,113	154
営業利益	26	19	45	31	38	69	23

【億円】

上期実績

- 汎用化学品は原料高の影響で増収。パラキシレン/ 高純度テレフタル酸は採算悪化。
- 特殊芳香族化学品は全般に、原料高の影響で採算悪化。
MXDA/ MXナイロンは堅調。
MGCアドバンストポリマーは商業生産開始。
イソフタル酸は需要堅調。

通期予想

- 汎用化学品は原料高継続で、パラキシレン/ 高純度テレフタル酸とも採算悪化の見通し。無水フタル酸は10月より減産。
- 特殊芳香族化学品は、MXDA/ MXナイロンの基調は変わらず、欧米で拡販に注力。

(参考) PX, PTA, Bz 価格

参考価格	2005年度				2004年度	
	下期		上期		下期 実績	上期 実績
	予想	期初予想	実績	期初予想		
パラキシレン ACP (円/kg)	117	101	101	101	102	89
原料キシレン公示価格 (円/kg)	86	68	69	68	67	59
ベンゼン CFR台湾(円/kg)	78	82	93	82	96	101

- 原油高騰を反映し、原料キシレン価格の上昇が続く。原料キシレン-パラキシレンスプレッドはさらに縮小の見込み。
- ベンゼン価格は、上期は期初想定より高値で推移も、下期は期初想定を下回る見込み。

芳香族化学品 トピックス

キシレン事業の再編

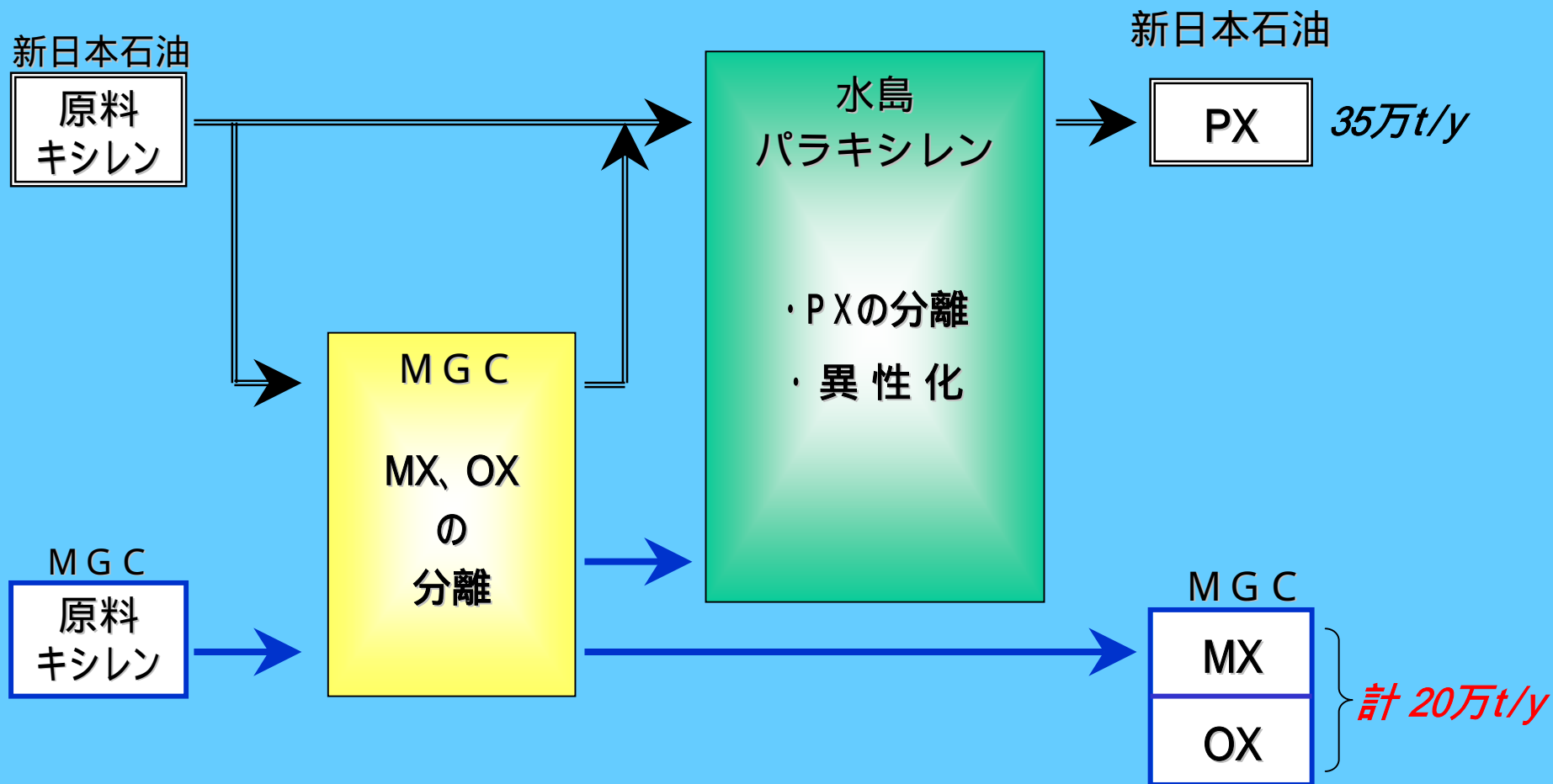
パラキシレン事業で新日本石油(株)と提携。収益変動リスクが大きい パラキシレン事業は水島アロマ(株)自消向けを除き縮小。当社独自のメタキシレン事業に特化。

【水島パラキシレン(株)】

出資比率:新日本石油(株) 51%/ MGC 49% (2006年 4月)

一方、メタキシレンは生産を拡大。MXDAは水島工場に生産設備を新設、生産能力の増強と2拠点生産による安定供給体制の確立を目指す。

キシレン事業 新スキーム



* 原料キシレンはPX(パラキシレン)、MX(メタキシレン)、OX(オルソキシレン)、他の混合物

機能化学品 実績と予想

	05年度 実績・予想			04年度 実績			増減
	上期	下期	計 a	上期	下期	計 b	a - b
売上高	597	641	1,238	520	561	1,081	157
営業利益	53	73	127	36	58	94	33

【億円】

上期実績

- 工業用無機薬品は、過酸化水素が紙パ・工業薬品用途とも数量増も、原料高が収益圧迫。
- 電子工業用薬品は、液晶・半導体向け薬液が需要の回復と新規ラインへの採用で、国内外とも好調。
- エンジニアリングプラスチックは、PCがアジアを中心に需要旺盛で数量増。需給タイトを背景に販売価格上昇。フィルムはFPD向けが好調で、数量増。一方、POMは中国を中心にユーザーの在庫調整を受け、数量減。

通期予想

- 工業用無機薬品は、原料高騰によるコストアップに対応し価格是正、採算改善を図る。
- 電子工業用薬品は、販売数量増加を見込む。
- エンジニアリングプラスチックは、PCの需給タイト基調は変わらず。期初想定を上回る見込み。POMは調整終了で数量回復の見込み。

* PC:ポリカーボネート、POM:ポリアセタール

機能化学品 トピックス

<p>過酸化水素事業の 強化</p>	<p>公正取引委員会の了承を前提に、新酸素化学(株)の発行済株式50%を、大日本インキ化学工業(株)より取得することで合意。</p>
<p>ポリカーボネート ポリアセタール 生産能力の増強</p>	<p>デボトルネックによる生産能力の増強を検討。 【増強を検討している製造拠点】 ポリカーボネート: 鹿島工場、 Thai Polycarbonate Company ポリアセタール: Thai Polyacetal Company</p>
<p>ポリカーボネート シート・フィルム 事業の統合</p>	<p>大阪工場(シート製造拠点)と富士化成(株)(フィルム製造拠点)を統合、<u>MGCフィルシート(株)</u>を設立。 両社の開発力・技術力を融合させ、市場ニーズに対応。 【MGCフィルシート 売上高】 2004年度: 120億円 (大阪工場・富士化成 合算) 2008年度: 200億円 を目標</p>

特殊機能材 実績と予想

	05年度 実績・予想			04年度 実績			増減
	上期	下期	計 a	上期	下期	計 b	a - b
売上高	308	340	649	305	274	579	70
営業利益	49	46	95	46	28	74	21

【億円】

上期実績

- ▶ プリント配線板用材料では、BT系が半導体市況の回復と、デジタル機器の高機能化に伴う数量増で、前年同期並みの数量を確保。一方、エポキシ系は汎用品を縮小、高機能品の立ち上がりが遅れて数量減。LEシートは堅調。
- ▶ 脱酸素剤は、食品向け輸出が競争激化で数量減も、国内および他用途向けが好調で前期並み。

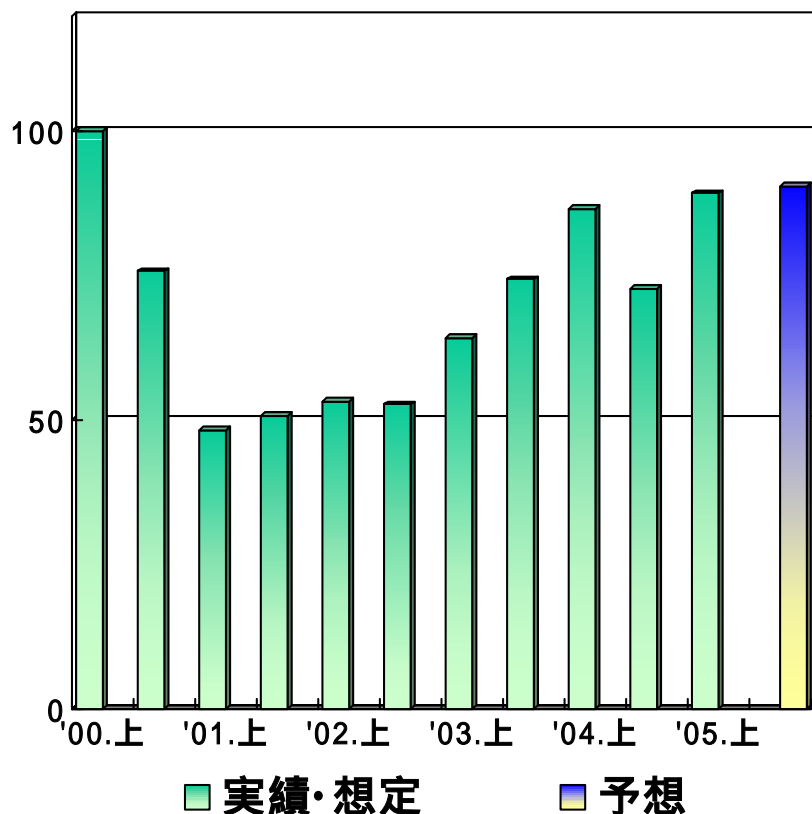
通期予想

- ▶ プリント配線板用材料は上期の基調を継続。4th Qは季節要因で調整局面に入るも、前期のような大幅な落ち込みは無い見込み。
- ▶ 脱酸素剤は上期の基調が継続。価格競争の激しい汎用品の採算改善に注力。

(参考)売上高・販売数量の推移

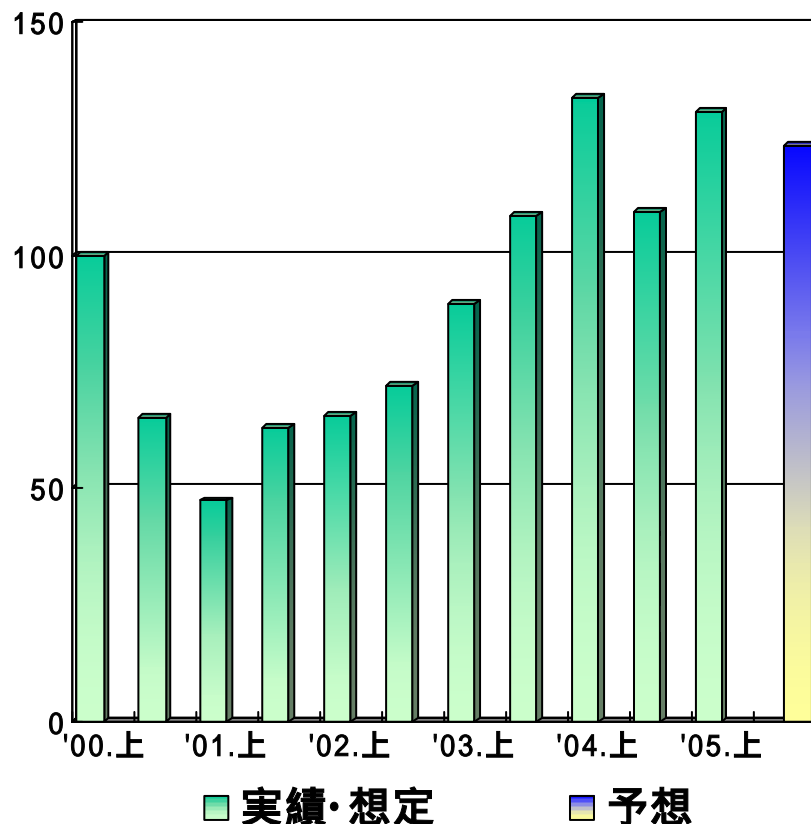
電子材料売上高の推移

(’00年上期の売上高を100とした指数)



BT系材料販売数量*の推移

(’00年上期の販売面積を100とした指数)



*面積換算

連結 2005 年度通期業績予想

【億円】

	05年度 通期予想	04年度 通期実績	増減
売上高	4,250	3,886	364
営業利益	325	309	16
持分法利益	128	118	10
経常利益	415	377	38
税引前利益	367	293	74
当期純利益	275	233	42

➤ 下期も上期と同じ基調で推移の見込み。

➤ 原燃料価格の更なる高騰・高止まりの影響が懸念される。

➤ 当期の主な特別損失は探鉱費償却 15億円、資産処分損ほか 35億。

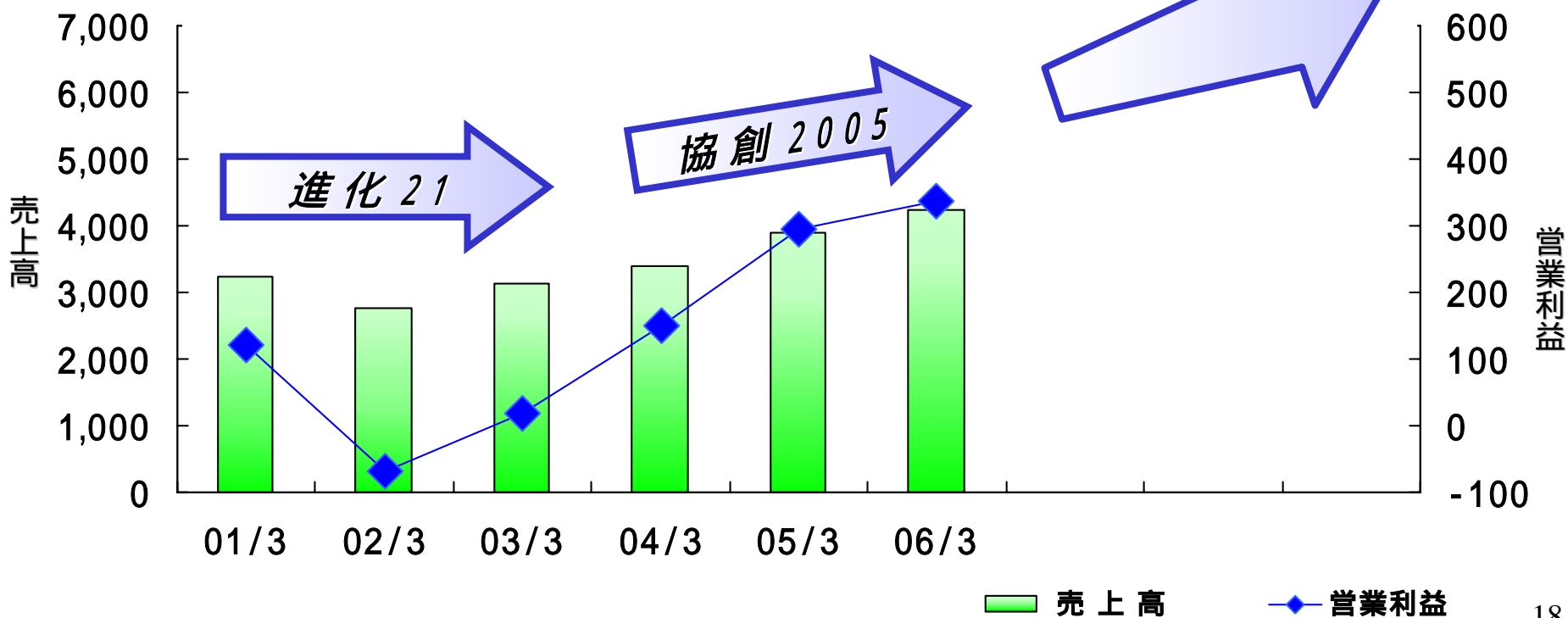
➤ 配当金は中間・期末とも4.0円。

次期中期経営計画

2006年4月～

更なる成長に向け
次のステージへ

構造改革・
体質改善路線 から



次期中計のポイント

・グローバルな競争への対応

～ アジアにおけるプレゼンスの強化

コア事業の海外展開:

メタノール(サウジアラビア、ベネズエラ、ブルネイ、重慶)

メタノール誘導品(南京)、ポリカーボネート・過酸化水素(中国)等

・競争優位事業への経営資源の集中投入

MGCの競争優位事業:

コエンザイムQ10、MXナイロンなど特殊芳香族化学品、

ポリカーボネートシート・フィルム、電子工業向け薬品ELMクリーン、

BT系プリント配線板用材料等

・新規事業の育成

引続き、次期コア事業の育成に取り組む。

お問い合わせ先

三菱ガス化学株式会社

広報IR部(佐藤、輿石)

TEL 03 - 3283 - 5041

FAX 03 - 3287 - 0833

<http://www.mgc.co.jp/>

E-mail: infoir@mgc.co.jp

<見通しに関する注意事項>

当資料に記載されている内容は、いくつかの前提に基づいたものであり、将来の計画数値や施策の実現を確約したり保証したりするものではありません。

1. 連結 2005年度上期末 貸借対照表(対 前年度末実績)

(単位: 億円)

	2005年度 上期末	2004年度 期末	増減	増減率	メモ
現金及び預金	216	246	30	12.3%	
受取手形・売掛金	1,191	1,122	69	6.2%	増加理由: 売上高の増加など
有価証券	51	50	0	0.9%	
棚卸資産	565	512	54	10.5%	増加理由: MGC 31億円、連結子会社 23億円
その他流動資産	168	154	14	9.1%	
< 流動資産 計 >	2,190	2,084	107	5.1%	
有形固定資産	1,516	1,537	22	1.4%	減少理由: 設備投資費(71億円) < 減価償却費(90億円)
無形固定資産	34	37	3	7.1%	
投資等	1,445	1,288	157	12.2%	増加理由: 有価証券の時価評価益増、持分法会社の持分剰余金増。
< 固定資産 計 >	2,995	2,862	133	4.7%	
資産合計	5,185	4,946	239	4.8%	
支払手形・買掛金	776	758	18	2.4%	
有利子負債	1,665	1,671	6	0.3%	
その他負債	441	412	28	6.9%	増加理由: 繰延税金負債の増加(36億円)
< 負債 計 >	2,881	2,841	41	1.4%	
< 少数株主持分 >	74	72	2	2.2%	
資本金・資本剰余金	775	775	0	0.0%	
利益剰余金	1,381	1,249	132	10.6%	中間純利益 148億円
土地再評価差額金	2	2	0	0	
その他有価証券評価差額金	161	118	44	37.2%	
為替換算調整勘定	51	72	21	29.4%	
自己株式	39	39	0	1.0%	
< 資本の部 >	2,230	2,033	197	9.7%	株主資本比率 当上期末 43.0% (1.9ポイント上昇)
負債及び資本合計	5,185	4,946	239	4.8%	

2. 連結キャッシュフロー

	2005年度 上期末	2004年度 上期末	増減	メモ(2005年度上期の主な内訳)
現金・現金同等物 期首残高	287	304	17	
営業活動によるCF	55	63	9	税前利益 204億円、持分法利益 64億円、減価償却費 90億円 運転資金 133億円、法人税等支払 38億円
投資活動によるCF	59	35	25	設備資金 69億円
財務活動によるCF	31	83	52	借入金・社債増減 10億円、配当金支払 18億円。
為替換算差異 他	5	5	1	
現金・現金同等物 純増減額	30	50	20	
連結追加・除外による増減	-	-	-	
現金・現金同等物 期末残高	257	255	2	

3. 各種指標推移(連結)

(単位:億円)

	03年度 実績	04年度 実績	05年度 実績・予想	増減		増減率	
				03 04	04 05	03 04	04 05
設備投資額 (うち上期)	125 75	186 72	240 71	61 3	54 1	48.8% 4.0%	29.0% 1.4%
減価償却費 (うち上期)	195 98	194 96	190 90	1 2	4 6	0.5% 2.0%	2.1% 5.8%
研究開発費 (うち上期)	105 55	107 55	110 53	2 0	3 2	1.9% 0.0%	2.8% 3.6%
人員 (年度末時点)	4,537人	4,426人	4,439人	111人	+13人	2.4%	0.3%

	03年度 実績	04年度 実績	05年度 予想	増減	
				03 04	04 05
一株当り 当期利益	22.9円	50.4円	59.5円	27.5円	9.1円
ROA (総資産経常利益率)	4.0%	7.8%	8.1%	3.8pts	0.3pts
ROE (株主資本経常利益率)	11.0%	19.7%	19.0%	8.7pts	0.7pts
配当額 (うち上期)	4.0円 (0.0円)	6.0円 (2.5円)	8.0円 (4.0円)	2.0円 (2.5円)	2.0円 (1.5円)

4. 経営環境

	2003年度実績		2004年度実績		2005年度実績・予想		メモ
	1~6月	7~12月	1~6月	7~12月	1~6月	7~12月	
メタノール市況 (\$ / MT)	250~260	230~240	220~240	240~260	270~290	240~260	2005年度 1~6月実績、7~12月予想とも、5月の予想と変わらず。

	2003年度実績		2004年度実績		2005年度実績・予想		メモ
	上期	下期	上期	下期	上期	下期	
原料キシレン 公示価格(円/kg)	45	47	59	67	69	86	
為替 (円/\$)	118	108	110	105	109	110	
	113		108		110		

電子材料 売上高指数推移	2000年度		2001年度		2002年度		メモ	
	上期	下期	上期	下期	上期	下期		
	100	75.8	48.2	50.9	53.2	52.7		2000年度上期を100とした場合の指数表示
	2003年度		2004年度		2005年度実績・予想			
	上期	下期	上期	下期	上期	下期		
	64.3	74.4	86.5	72.8	89.3	90.4		

(参考資料)

2005年度 中間決算説明会資料(4/4)

2005年11月16日
三菱ガス化学株式会社

5. 単体 2005年度 売上高・損益増減比較(対前年実績)

(単位:億円)

	2005年度		2004年度		増減			メモ
	上期実績	通期予想	上期実績	通期実績	上期比較	(ウチ価格要因) (ウチ数量要因)	通期比較	
売上高	1,518	3,120	1,368	2,817	151	(115) (35)	303	
天然ガス系化学品	395	799	382	808	13	(29) (16)	9	
芳香族化学品	469	980	411	853	58	(43) (15)	126	
機能化学品	425	877	352	732	73	(42) (31)	145	
特殊機能材	229	464	223	423	6	(1) (4)	40	
その他・消去	1	1	0	0	1	(-) (1)	0	
営業利益	90	190	68	184		22	6	
営業外損益	19	35	7	17		13	18	
経常利益	110	225	75	201		35	24	
特別損益	1	45	21	76		20	31	
税引前当期純利益	109	180	53	125		55	55	
法人税、住民税及び事業税 法人税等調整額	29	40	7	20		23	20	
当期純利益	79	140	47	104		33	36	